

面接試験について

その1

あらためて説明するまでもなく、公立学校の推薦入試や、私立学校の一般入試では、通常面接試験が行われます。面接試験は、学力検査(入試)などのように数字としては表れないものであるだけに、『これが正解』『これだけでできれば必ず合格』というものはありません。そこで、どんなことを心がけ、どんなことに注意しなければならぬのか、ということ、何回かに分けて述べていきたいと思います。

一、面接試験の目的と方法

面接を行う試験官は、ベテランの人が行います。就職試験での面接は、会社側としても必ず死です。何しろ、その社員によって会社の運命が左右されるかもしれないからです。面接で、その人の(常識的な意味での)知識を知ろうとするのも一つの目的ですが、それよりも受験者の人間性を知ることがもっと重要な目的です。

特に私立学校では「独自の校風」「教育方針」

「規則」などがあり、これらに受験生が適応できるか否か、学校生活がスムーズに過ごせることができるかどうか、などを面接で判断するのです。細かくいうと、面接は次のような観点で行われることが多いようです。

☆その学校へ入学したいという強い意志があるかどうか？
 ☆学習意欲があるかどうか？
 ☆態度が明朗・健康的であるか？

☆正しい言葉遣いを使うことができるか？
 ☆将来についてしっかりと考えた考えを持っているか？
 ☆年齢に応じた常識を持っているか？
 ☆家庭での(家族間の)人間関係はどうか？
 ☆学校やその他の友人関係はどうか？
 また、面接の方法としては、次のような形態が多いようです。

- ★生徒のみ個人で
- ★生徒のみグループで
- ★生徒・保護者同伴で

二、面接試験に備えて・・・

(この言い方はあまり好きではないのですが)面接に備えて「はい」をはっきり返事ができるように！

私立高校は多くの学校が面接試験を行います。都立高校でも推薦入試では面接がつきものです。本来高校生になろうとするものは(就職希望者も)、普段から正しい言葉遣いや、正しい礼儀作法を身につけていなければなりません。しかし、礼儀や言葉遣いは一朝一夕で良くなるものではありません。先生や保護者、目上の人などの会話、職員室の出入りなど、普段から注意しましょう。

★生徒と保護者とそれぞれ個別で

『面接に備えて』という書き方をしましたが、面接を、正しい礼儀作法を身につける機会としてとらえ、最近の自分を振り返って、『返事や態度』を確認してみてもどうでしょうか？

来週の予定:11月15日(月)~19日(金)

期末考査へ向けて計画的に学習すること

| 日 | 曜 | 行事等 |
|----|---|--|
| 15 | 月 | 普通時程 給食あり 1校時カット 2~6校時の授業 |
| 16 | 火 | 普通時程 給食あり 通常時間割 |
| 17 | 水 | 特別時程 給食なし 期末考査1日目 1,国語 2,社会 3,美術 |
| 18 | 木 | 特別時程 給食なし 期末考査2日目 1,英語 2,理科 3,技術。家庭 |
| 19 | 金 | 特別時程 給食あり 期末考査3日目 1,数学 2,保体 3,音楽 4,総放課後生徒委員会 |

